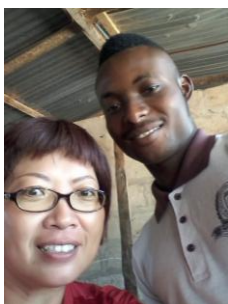


「4年に一度の選挙の年を迎えて思うこと」
～投票率80パーセントで暮らしは変わるのでしょいか～

このような形式で代表者挨拶をするのは今回で3回目になります。月に一度の更新を目指して、その時に思っていることなどを書いていきたいと思います。これとは反対に2年前まではほぼ毎日のように更新していたスプートニクガーナのブログもめっきり更新率が減ってしまいました。徐々にこの月一度更新する挨拶にシフトしていこうかなと思っています。さて、日本は紅葉が美しい季節となってきたのではないのでしょうか。ガーナに住んで7年になると、紅葉も冬の寒さも忘れてしまいます。ガーナの季節は大まかに雨季と乾季に分かれます。またもう間もなくすると、西サハラ砂漠から季節風に乗って砂がやってくるハルマタン(通称ハマターン)の時季を迎えます。ハマターンの季節になると、太陽の光は砂で遮断されるのでうっすらと曇りのようで、その分暑さは和らぐのですが、前方の視界が真っ白、また部屋の中は砂でザラザラとなります。体調を崩す人も多く出てきます。そのハマターンの季節はもうすぐです。そして、あと1か月後の12月7日は大統領選挙です。ガーナに住んで2回目の大統領選です。もちろん在邦人には選挙権がありません。ガーナの選挙で感心したのが、投票率がとても高いということです。聞くところによると80パーセントの投票率と聞きます。4年前の大統領選で投票日が近づいてくると、大型トラックに音響システムを乗せてガンガンに音楽を流し、候補者の写真はもちろん政党のロゴマーク入りの旗を翻らせ、荷台に乗っている選挙スタッフらしき人は踊りながら、CDを投げ配っていたり、はたまた小さなバンから政党ロゴの入ったポロシャツを配っていたりと、日本とは全く違う選挙活動に驚いたものでした。今年も何度か政党応援行進を目にしました。町の中は各政党の旗が立てられています。トロトロと呼ばれる乗り合いバスやタクシーに乗ると、ラジオでは選挙のことが多くなりました。選挙で苦しい生活から脱却できると考えているガーナ人も少なくはありません。選挙が行われることによって仕事に就け暮らしが楽になる。そう思っているようです。物価はもちろん私たちの生活に直接影響するものなので、選挙でガーナの人たちの暮らしが少しでも良くなればいいなと思います。子どもたちの未来にも関係してくるものです。2016年の選挙で人々の暮らしが明るいものになるように願うばかりです。 2016年10月30日



写真は選挙の話と関係ありませんが、6月に中学を卒業したジャガー君です。この子たちの未来のためにも切に願います。(スプートニクガーナ 国分敏子)